

2025 年 3 月

経済・マネジメント学群入学予定の皆さんへ

『入学前教育』のご案内

高知工科大学経済・マネジメント学群への合格おめでとうございます。

本学群では、これから経済やマネジメントを学んでいただくにあたり、基礎力の向上を目的とした「入学前教育プログラム」を実施しています。それを活用することで、経済学や経営学の学習に必要な数学の基礎知識を習得し、4月からの大学生活を有意義に過ごしていただきたいと願っています。

また、専攻に関連する推薦図書を用意しました。関心があるものを1つ以上選び、入学前にぜひとも読んで下さい。ただし、将来進む専攻をこの時点で決めるものではありません。現在関心があるものを自由に選んで下さい。

以上

入学前教育についてご不明な点がありましたら、以下までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

高知工科大学 経済・マネジメント学群事務室

088-821-7157

入学前教育 事前課題

入学前教育の事前課題として、以下の教科書を参考にしつつワークブックの問題に取り組んでください。この課題では経済学・経営学（とくにミクロ経済学・マクロ経済学・統計学）で使用する数学の、基礎的な仕組みと使い方について応用例を用いて身に付けることを目的としています。

教科書：『経済学で出る数学：高校数学からきちんと攻める』

尾山大輔、安田洋祐 （2013） 日本評論社

ワークブック：『経済学で出る数学ワークブックでじっくり攻める』

白石俊輔 （2014） 日本評論社

ワークブックでは入学後、経済学・経営学で使用する数学の基本的な使い方を演習することができ、教科書ではそうした内容の背景や証明を含めて学習することができます。数学が得意な人は、教科書を証明等も含めて通して読み、その演習としてワークブックに取り組むことを推奨します。数学に苦手意識がある人はワークブックから始め、より詳しい解説が欲しい時に教科書を参照することを推奨します。

2 年以降の経済学・経営学の科目でこれらの数学を使用するほか、入学直後の以下の科目で皆さんの学習成果を直接的に確かめます。

1 年生 1 学期『経済学・マネジメント学のための数学 I』：1・2・3・4・5・7 章
（除外範囲：1.5, 2.2, 2.3, 3.7, 3.8, 4.5, 4.6, 5.6, 5.8, 5.9, 5.10, 7.5, 7.6）

1 年生 2 学期『経済学・マネジメント学のための数学 II』：8・9・10 章
（除外範囲：8.5～8.8, 9.3.2, 10.1, 10.4, 10.7～10.9）

推薦図書リスト

以下の 8 冊の図書を推薦いたします。

1. 企業・起業マネジメント専攻

『レゴ (LEGO) 競争にも模倣にも負けない世界一ブランドの育て方』

蛭谷敏 (2021) ダイヤモンド社 (ISBN-978-4-478-11457-5)

推薦文：

インターネットや AI の例を見るまでもなく、目まぐるしい技術の進化によって、身につけたスキルや知識は瞬く間に陳腐化する時代になりました。予測不能な未来の変化に対応するためには、過去に蓄積された経験や知識を当てはめる、あるいは応用するだけでなく、「必要となる知識は何か」という問いとそれに対する解を自律的に求め、習得していくといった発想の転換が必要となっています。レゴにはこの創造的思考を鍛える手法がいくつも存在します。経営危機を脱し、今や GAFA をしのぐ超高収益経営を実現したレゴのケースを通じてこれらの手法を理解して欲しいと思います。

2. スポーツマネジメント専攻

『常識の超え方～35 歳球団社長の経営メソッド』池田純 (2017) 文藝春秋

推薦文：

著者である池田氏は、35 歳の若さで、2011 年 12 月に誕生したプロ野球球団「横浜 DeNA ベイスターズ」の社長に就任しました。当時のベイスターズは、売上 52 億円で 24 億円もの赤字を抱えていました。しかし池田氏は経営手腕を発揮

して、5年後の2016年には売上100億円超、5億円超の黒字を出せる球団へと「変化」させたのでした。

横浜 DeNA ベイスターズをよみがえらせた池田氏の経営手法とはどういうものか、なぜ池田氏が成功できたのだろうか、そして、(野球に限らず、サッカー、バレーボールなど様々な球団がありますが) 球団を経営するうえで大切なことは何だろうかといった点を読書ポイントにして、スポーツビジネスとはどういうものかについて味わってほしいと思います。

また、本の終盤には、大学スポーツをはじめ池田氏のスポーツ界に対する考え方についても書かれています。今後のスポーツビジネスをみるうえで参考にして下さい。

3. 国際経済マネジメント専攻

『君達は何のために学ぶのか』 榊原英資 (2009) 文藝春秋

推薦文：

現代はグローバルマーケットの下で個人・社会・国がお互いに競争・共創しています。こうした時代をより良く生きるために、何故これから大学で学び、何故「国際共通言語の英語」を学ぶ必要があるのでしょうか。こうした疑問に対する答えを「世界各国の政治家やテクノクラートから“Mr. 円”と呼ばれ、畏敬された男、榊原英資」が若者に向けて分かりやすく説明します。私も大学入学前にこの本を読みたかった!!! 簡単に読める本ですが、そこには真実が書いていると思います。楽しんで頂ければ幸いです。

4. 数理経済マネジメント専攻

『ナンバーセンス ビッグデータの嘘を見抜く「統計リテラシー」の身につけ方』
カイザー・ファング (著) 矢羽野薫 (訳) (2015) CCC メディアハウス

推薦文：

ビッグデータのビジネスでの活用が進む中、データ分析の正しさを嗅ぎ分けるための「第六感」の重要性を説いた本です。航空会社 A・B は共通する 5 空港を発着しています。どの空港でも、年間の出発遅延率の低さでは A 社が B 社より優れています（遅延率が低い）。それにもかかわらず、会社毎の遅延率では、B 社が A 社よりも優れていることが分かりました。なぜこんなことが起こるのでしょうか？業務改善をしなければならないのは、どちらの会社でしょうか？このような具体例を通じて、第六感の重要性を理解しておけば、大学に入ってから統計学等の勉強が、より楽しく意義深いものになるでしょう。最後に、自分なりに考察してもらいたいポイントを書いておきます。第 5 章「なぜマーケターは矛盾したメッセージを送るのか？」を読み、企業がビッグデータを活用して人々の消費行動を予測する場合、その予測の精度はどの程度なのか？また、企業にとっては、どのくらいのお金をかけて、どの程度の精度を実現すれば、ビッグデータによる予測が経営上有益なものとなり得るのか？これらの点について、考えてみて下さい。

5. 地域・行政システム専攻

『上杉鷹山の経営学―危機を乗り切るリーダーの条件』

童門冬二（1990）PHP 研究所

推薦文：

組織の課題を解決するリーダーの在り方を教えてくれます。上杉鷹山は、弱小の米沢藩の藩主ですが、養子でもありました。名門上杉家がお国替えで移った米沢藩は、名門であるが故に多くの武士を抱えていましたが、小さい藩では養えない規模でした。加えて米沢藩は見るべき特産品も無く貧しかったのです。このような困難な状況の中で、リーダーシップを発揮し、如何に藩政改革を成し遂げ、如何に地域経済を活性化させたかをぜひ学んで下さい。

6. 経済政策専攻

『「学力」の経済学』中室牧子（2015）ディスカヴァー・トゥエンティワン

推薦文：

みんな教育を受けたことがあるので、教育については自分の意見を言いたがる人が多いでしょう。しかしながら、一人の人間が体験できることがどれだけあるのでしょうか。他人の体験談がどれだけ自分に当てはまるのでしょうか。教育の真の効果を測るためには、個人の体験を何千、何万、何十万と集めた大規模なデータを分析する必要があります。本書は、効果的な教育政策や教授方法について科学的根拠（エビデンス）を用いて明らかにする教育経済学の入門書です。

これまで12年間学んできて、そしてこれからもう4年学ぶことになる皆さんにぜひ読んでほしい良書です。

7. 人間行動専攻

『信頼学の教室』中谷内一也（2015）講談社現代新書

推薦文：

経済・マネジメント学群の人間行動専攻では社会心理学や社会生物学などを駆使し、社会と個人の相互関係を分析します。社会と個人をつなぐひとつの鍵が「信頼」です。私たちは他人を信頼することで、あるいは他人から信頼されることで、社会を維持・構築することができます。では、私たちは一体どうすれば他者を信頼し、他者から信頼されることができるのでしょうか。この本ではまず、社会心理学や生物学の研究から「信頼とは何か」を考え、解き明かしていきます。さらに、Academy of Management Review や American Economic Review など、マネジメントや経済学の論文も引用しながら信頼の問題を考えています。つまり、信頼とはマネジメントや経済学においても重要なトピックなのです。日常用語でも

ある「信頼」を学問的に研究するとはどういうことなのかを理解しつつ、「友達に信頼されるために」「組織の一員として信頼関係を構築するために」「組織のトップとして、信頼される企業をつくるために」どうしたらいいか、考えてみて下さい。

8. 基礎知識

『図解でわかる時事重要テーマ 100 2024-2025』

日経HR編集部（2003）日経HR

世の中は日々変化しています。それを知ることができるツールはニュースや新聞です。特に新聞を読むことは、世の中で活躍するための必須事項です。しかしいきなり新聞を読んでも、その価値や面白さに気づけないかもしれません。それを理解するには基礎的な知識が必要だからです。この本でその知識が網羅できるとは限りませんが、最低限この本に書いてある内容は理解しておいてほしい事柄です。社会に出ると、様々な背景を持つ幅広い年代の人たちと議論し、意見を交わすことになります。そのときに困らないためにも、大学生の間に、社会人としての一般常識を身につけてほしいと考えています。

以上